



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第4号
平成29年7月14日
校長 松丸 晴美

「学びのスタイルの転換」

東門付近から水遊びに興じる園児の声が聞こえ、夏休みも間近になってきました。

本校でも体育の授業に加え、夏の臨海学校に向けた水泳練習が始まりましたが、プールの次の授業では、なぜ、こんなに眠気を誘われるのでしょうか。

さて、今年度、本校が重点的に取り組んでいるのは「思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善」です。

教科書に沿って詳しく説明し、大事なことを板書することが中心のいわば「連続インプット」の授業から、提示した課題について生徒同士がグループで協議し発表する、生徒に問いを投げかけて、考えたことを自由に発言させるなどの「アウトプット」をどんどん取り入れた授業への転換を図っています。

授業を参観すると、班やグループでの話し合い活動は、お互い積極的に意見を言い合い、発表もそこそこできているように思います。しかし、個人が指名されると、なぜか近くの席の生徒の顔をみたり、自分の考えを言う前に話しかけ確認する生徒が少なくないことに驚きます。生徒には、「自分の頭で考え、自分の考えをもつ」ことの大切さを機会ある毎に話していますが、「もし違っていたら恥ずかしい・・・」そんな思いが先立ってしまい、無意識に、周りの人に聞いたり、確かめたりしてしまうのでしょうか？

先日、練馬区にあるインターナショナルスクールで9年生（中学3年）の授業を参観しました。50分授業の中で、先生から提示された課題について、チームで意見交換したり、

インターネットで調べたりしながら、理由や根拠とともに考えを模造紙にまとめ、発表する時間が40分ありました。日本の授業に慣れ親しんだ私からみると、ここまで思い切った授業をするのは難しいなあと思いました。

同時期に、大学で教鞭をとっている先生からは、今時の大学生は、『課題を出すと、考える前に何でもネットで調べようとし、授業中もスマホが手放せない学生が多い』『問題を理解し、考え、アウトプットすることが苦手な学生が多い』『言いたいことをうまく伝えられない、質問に対して適切に答えられないなど、コミュニケーションが下手な学生が多い』という話を聞き、やはりなあという感想ももちました。

情報化の進展により、すぐに求める情報や答えを得ることができる便利な社会だからこそ、自ら考える力や適切な情報を取捨選択する判断力を高めることは、これまで以上に重要になってきます。一朝一夕に私達の指導観を転換することは難しいのですが、スピード感をもって取り組んでいかなければなりません。

本校では、先日、第一回目の生徒による授業アンケート評価を行いました。今年は、すべての教科で、「意見交換や考える時間が設けられていますか」「表現したり、練習する時間が確保されていますか」という質問項目を入れました。果たして生徒はどのような評価をしてくれるのでしょうか？

今年も、家族や仲間と共に充実した夏休みを過ごし、9月1日（金）の始業式には笑顔で、元気な挨拶が飛び交うことを願っています。

学校生活ふりかえりアンケートの取組

学校いじめ対策推進教員 主任教諭 伊藤友文

昨今の深刻な「いじめ問題」を受け、本校ではいじめ防止・早期発見のための取組として学校生活アンケートを実施しています。生徒の状況や様子を見ながら実施月を決めて取り組んでいます。1学期はすでに5月に実施しました。このアンケートは右表のような質問からなっています。生徒が答えてくれたアンケートを見て、担任や副担任が必要のある生徒に声をかけたり、聞き取りを行いました。内容によっては学年や全校の問題として注意を促し呼びかける場合もあります。また、いじめにつながらないように生徒の人間関係や心の健康状態も把握するようにしています。

いじめは日常のささいなところに潜んでいます。アンケートを活用しながらも、書かれている結果がすべてと捉えず、日々アンテナを高くして生徒を見守っていきます。次回は9月に実施しますが、ご家庭でもお子様の様子に変化や心配がありましたら、遠慮なく学校に相談していただけたらと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈アンケートの質問〉

- この一週間でわたしは、学校で他の人から、物をかしてもらった
- この一週間でわたしは、学校で他の人から、暴力を振るわれた。
- この一週間でわたしは、学校で他の人から、悪口を言われた。
- この一週間でわたしは、学校で他の人から、物をとられたりかくされたりした。
- この一週間でわたしは、学校で他の人から、無視された。
- この一週間でわたしは、学校で他の人から、いやいや何かをさせられた。

前期生徒総会

生活指導主任 教諭 佐藤由乃

6月15日（木）、前期生徒総会が行われました。各委員会から出された活動計画をもとに学級討議を行い、そこで出た質問や意見・要望を全校で共有しました。各クラスから出た質問に各種委員会の委員長が丁寧に答弁をしたり、クラスから意見や要望が出されたりと、活発な意見交換がされていました。また、そこで出てきた意見や要望を早速取り入れて、その後の活動に生かしている委員会もあります。さらに、生徒会本部が提案した「新しい委員会の設置」や「昨年度発足したJRC委員会を生徒会組織に組み込むこと」が承認されました。委員会活動を通して、生徒一人一人がよりよい学校作りを考える場となりました。今後、さらに委員会活動が活発化し、生徒自らの手で作り上げる学校に近づけたらと思います。

夏休みが明けたら、次期生徒会役員選挙が控えています。先輩から後輩へと、学校の中心を担う責任や伝統が受け継がれる時期です。それぞれの学年が協力し、さらに全校生徒一人一人が主体者となって、今後の石西中を創ってほしいと思います。



平成29年度前期生徒総会

- 1 開会のことば
- 2 校歌
- 3 議長団選出
- 4 議事
生徒会、学級（1，2，3）、給食
保健、整美、報道、図書、選管
- 5 議長団解任
- 6 校長先生の話
- 7 閉式のことば

情報モラル講習会について

生活指導部 情報モラル担当 教諭 高西俊一

6月27日(火)に1・2年生及び、保護者の方々を対象に本年度の「情報モラル講習会」を実施いたしました。講師としてLINE株式会社の「LINE オフィシャルインストラクター」の樋口孝一さんにご来校いただきました。



近年、情報伝達機器の普及により、社会におけるコミュニケーションの方法が大きく変化しました。子供たち同士も例外ではなく、対面しての会話よりも、情報機器に頼ったやり取りが多くなっています。このような状況を踏まえて、文字による言葉の伝達と、体全体で行う感情の伝達の違いなどから、「メールコミュニケーションの特性」を理解することを目的とし、この講習会を実施しています。「メールやLINE」などSNSを適正に利用し、子どもたちが誹謗中傷を受ける、個人情報の流失などの被害者にも加害者にもならないように、トラブルの未然防止について学ぶ機会と考えています。

さて、当日は、コミュニケーションの具体的な例を生徒たちに問いかけるなど、講師と生徒たちのやりとりで、進行しました。所々では笑い声が上がったり、時には、しっかりと話を聞く場面があったりとメリハリのある50分間でした。

生徒の声から (いずれも一部です)

「今回のお話で SNS の良さや危ないところを知ることができました。これから自分がスマホを持ったときには、SNS で何でも伝えるのではなく、相手にしっかり会って自分の伝えたいことを伝えることが必要だと思いました。」(女子)

「今回の情報モラル講習会を受けてみて、自分も SNS を使っていますが、メッセージを送る前にもう一度確認していこうと思いました。」(男子)

「あいさつ」について 一児童・生徒会サミットより一

生活指導部 生徒会担当 主任教諭 山下 遊

7月8日(土)の午後、4校(石神井西中・立野小・石神井西小・関町小)合同の児童・生徒会サミットが本校・視聴覚室で開かれました。今年度の話し合いのテーマは「あいさつ」でした。それぞれの小学校で事前にとったアンケートをもとに小学校代表委員たちが発表しました。その後、西中生徒会役員からの発表がありました。身近なテーマだったので、各学校の発表も分かりやすく、その後の小中混成のグループ討議も非常に活発に行われました。話し合いで決められた標語は以下の4点になります。

- ・目を合わせ 自分の声を 届けよう
- ・あいさつは 笑顔を作る 宝物
- ・あいさつは 元気が出る 人をつなげる 魔法の言葉
- ・やってるの? 元気なあいさつ 自分から



標語を作った後は、小学生から中学生への質問タイムでした。小学生からの中学校についての質問が次から次へと投げかけられ、生徒会役員は悩みながらも一つ一つの質問に答えていました。最初は緊張気味だった小学生も最後は笑い声も多く聞こえ、有意義な交流になりました。生徒会の発表は翌月曜の生徒会朝礼で西中全校生徒の前で行い、校内のあいさつ啓発につなげました。

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

(株) UNIQLO × 青少年赤十字 (JRC) 委員会

生涯学習部 JRC 委員会担当 教諭 坂林瑠璃子

本年度の JRC 委員会では 6 月～11 月にかけて株式会社 UNIQLO と協力し、“届けよう、服のチカラ”プロジェクトという活動を行うことになりました。この活動では、使わなくなった子供服を回収し、ユニクロを通じて世界の難民キャンプに届けます。

回収活動を始めるにあたり、6 月 28 日 (水) にユニクロの社員の方による特別授業を企画し、JRC 委員と希望生徒が参加して難民問題や私たちにもできる社会貢献活動について学びました。授業で教わったのは次のようなことです。



・難民とは…

世界には戦争の影響や、宗教・人種、政治的な意見が違うことによる差別などが原因で、家を追われ、他の国に逃れなければいけなくなった人

・世界の難民数と日本の役割

約 6500 万人 (そのうちの 50% は子供) 日本にも命がけで自分の国から逃げてきた難民がたくさんいます。日本は、1981 年に《難民条約》に加入し、そのような難民を守る約束をしています。

・服のチカラ (難民キャンプに服を届ける意義)

- | | | | |
|----------|--------|---------|--------|
| ①安全・衛生 | ②防寒・防暑 | ③教育の機会 | ④尊厳 |
| ⑤女性の社会参加 | ⑥自立 | ⑦環境負荷低減 | ⑧生活の潤い |

今後、JRC 委員会では 7 月～9 月にかけて回収準備を行い、本校および近隣の小学校・保育園などに回収箱を設置する予定です。回収は、10 月 2 日 (月)～10 月 31 日 (火) の 1 ヶ月で行います。ご自宅で使わなくなった子供服等がある方はぜひご協力をお願いいたします。

第 1 学年留学生の話を聞く会 —6 月 29 日 (木) 5, 6 校時—

生涯学習部 教諭 百田 果

本校では、毎年、国際理解教育の一環として、留学生を招いて話を聞く会を行っています。今回は、アメリカ、中国、フランス、ハンガリー、ウズベキスタン、インドネシアからの留学生が来てくださり、各クラス 2 カ国の留学生の方から話を聞きました。

沢山の写真とともに、各国から国旗の由来や食べ物、有名な建物の話を始めとし、新しいことをたくさん学びました。留学生の方たちの上手な話に引き込まれ、各国に思いをはせる貴重な機会となりました。違いを知り、認め合い、お互いが助け合える世の中になるように、と願っています。



追記：事前の準備や当日のお手伝いは各クラス 2 名の生徒が担いました。おもてなしの心を大切にしてくれ、みんなで作ったお土産のしおりや折り紙の置物などは、とても気に入ってもらいました。

～次ページに生徒の感想を紹介します～

<p>コーリーさん（アメリカ）の話を聞いて ミネソタで、よく作られている トウモロコシが 10 円だと言 うことに驚きました。また、黒 い米が湖から出てくることが不 思議でした。</p>	<p>コウさん（中国）の話を聞いて チワン族の民族衣装を触るこ とができてとても良かったで す。「人生は冒険だ」というメッ セージも心に残りました。</p>	<p>ソフィさん（フランス）の話を聞いて フランスの主食はパン以外に もチーズがあるというのを初め て知りました。また「夢は諦め ないで」という言葉も印象に残 りました。</p>
<p>コワーチさん（ハンガリー）の話を聞いて 印象に残っているのは、中学 校がないことと、温泉があるこ とです。温泉があることに親近 感をもちました。民族衣装がと ても似合っていました。</p>	<p>ファヒリディンさん（ウズベキスタン）の話を聞いて 7 割が砂漠と聞いていたけれ ど、タシケントという都市は日 本と似ていてとてもきれいでは した。結婚式に 700 人も参加す ると聞いてびっくりしました。</p>	<p>リダさん（インドネシア）の話を聞いて 食文化が日本と似ていて、お 米を食べることに驚きました。 一番驚いたのは、マクドナルド でもお米が出てくることです。 民族衣装が素敵でした。</p>

お知らせ

公欠（出席扱い）について

これまで本校では、授業日にスポーツ活動の試合や強化合宿などに参加した生徒を出席扱いと認める場合は、中学校体育連盟の主催、オリンピックや国体関係のものであることとしてきました。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに関連して、スポーツ庁から、「優れたスポーツ競技に参加する生徒について出席の扱いを拡大してほしい」と通知を受け、今後、中体連以外のスポーツ活動についても出席扱いを拡大していきます。お申し出の際に、大会要項等と学校宛ての参加要請を添えてください。

開校 70 周年記念行事について

昭和 22 年 4 月に新制中学校として開校して今年度で開校 70 周年になります。つきましては、開校 70 周年記念式典・祝賀会を本校体育館にて平成 29 年 11 月 3 日（祝・金）に開催いたします。

● 記念式典（学校主催） 午前 10 時 30 分開式（午前 10 時受付開始）

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 開式のことば 2. 国歌斉唱 3. 区歌斉唱 伴奏（吹奏楽部） 4. 学校長式辞 5. 来賓祝辞 6. 来賓紹介、祝電披露 | <ol style="list-style-type: none"> 7. 「Heartfelt Thanks and To the Future」 <ul style="list-style-type: none"> ・周年実行委員生徒の発表及び校歌斉唱 ・吹奏楽部記念演奏 ・3 年生記念合唱 「結」 8. 全員合唱 「ふるさと」 9. 閉会のことば |
|---|--|

● 記念祝賀会（実行員会主催） 午後 1 時開会（12 時 30 分受付開始） 会費 4000 円

※ 来賓の方への招待状は 7 月中に発送予定です。当日、招待状をお持ちでない方は参加できませんので、卒業生で祝賀会への出席を希望される方は事前に副校長までお名前、ご住所、何期卒業かをご連絡ください。出席者のとりまとめは 8 月 21 日までを予定しています。

部活動の記録

陸上部 都大会の結果

第 68 回東京都中学校地域別陸上競技大会(6/17,18)

女子西部共通 800m 第 4 位 記録 2 分 24 秒 65 田中美亜

女子西部 1 年 100m 第 5 位 記録 13 秒 88 上田彩月

男子西部 1 年 1500m 第 4 位 記録 4 分 53 秒 90 白磯 拓

女子西部 3 年 100m 第 7 位 記録 13 秒 37 土倉凜々

女子西部低学年 4×100m 第 4 位 記録 54 秒 65 中村愛花、小川穂里、高木星音、上田彩月
都総体第 70 回都陸上競技選手権大会(7/8,9)

女子共通 200m 第 3 位 記録 25 秒 66 田中美亜

→熊本での全国大会 (8/19~21) への出場が決まりました！

女子低学年 4×100m 第 4 位 記録 52 秒 69 中村愛花、小川穂里、窪田こころ、上田彩月

第 55 回練馬区中学校生徒総合体育大会

○ソフトテニス 男子団体 決勝リーグ 4 位(6/18)

都立大泉附属 2-1 石西、旭丘 2-1 石西、貫井 3-0 石西

【顧問より】テスト期間でありながら 3 年生最後の夏の都大会へつなぐため練習に励み、試合に臨みました。必死にボールを追いかけ、粘りの勝負を見せてくれました。3 年間の成長を感じることが出来た試合だったと思います。3 年生のみなさん、ありがとうございました。

○卓球 女子団体(7/1) 準優勝 →都大会進出(7/22)

女子シングルス(6/24) 第 1 位 川村碧子、第 2 位 吉岡桜子

第 5 位 岩崎 泉、鈴木菜々子、第 9 位 川野帆乃佳

→都大会進出(7/23)

○バスケットボール 男子の部(7/2) 第 3 位 →都大会進出(7/22~)

女子の部(7/2) 優勝 →都大会進出(7/22~)

○バドミントン 男子団体(7/2) 第 6 位 →都大会 B ブロック予選進出(7/15)

男子ダブルス(7/9) 第 3 位 榎本宗矩・高鍋一希 第 4 位 寸田夏大・高島拓真

→いずれも都大会 B ブロック予選進出(7/16)

○野球 (~7/9) 優勝！ →都大会進出(7/20~)

その他の大会

陸上部

第 31 回東京リレーカーニバル (東京陸上競技協会主催) (6/24)

女子中学低学年 4×100m 第 5 位 記録 53 秒 38 中村愛花、小川穂里、伊藤美波、上田彩月

女子中学共通 4×100m 第 6 位 記録 53 秒 27 窪田こころ、土倉凜々、前田優依、田中美亜

テニス 2 年 A 組 小林千陽

須玉インターナショナル・ジュニア・トーナメント(6/30) シングルス 8 位、ダブルス 9 位

乗馬 1 年 A 組 田中葉乃香

2017 Fuji Horse Show Summer Grand Prix(6/30) (日本馬術連盟 公認障害馬術競技会主催)

L-B 級障害飛越競技 (H90cm) 第 3 位